

北海道発

ONLY



ONE の

家づくり

新築
&
リフォーム

Vol.9

北海道新聞社



外空間の活用

リビング・ダイニングと中庭を大きな掃き出し窓で結ぶと、外空間が室内空間の一部になる。室内外が渾然一体となり、部屋の広さと居心地の良さが倍増する
(北海道建築工房 小室雅伸)

Harmony【調和】



外空間との調和

屋根、壁、窓枠に至る建物の外観と、庭のアプローチや塀など外空間を同じ色、同じテイストにすると統一感が生まれる(大谷慎一郎建築室 大谷慎一郎)



眺望のある暮らし

海を眺めて過ごす暮らし—その実現のために、大きな窓を設けて内外空間を一体化し、絶景を毎日の生活の一部にした。室内にいても外にいるような錯覚に陥り、部屋の広さが無限大に広がる(戸島健二郎建築設計 戸島健二郎)



光の造形

トップライトから室内に注ぐ光は、刻一刻と影の形を変化させ、日常空間の中に非日常を演出する。自然の光が織り成す造形は、暮らしに潤いをもたらす(スタジオ・シンフォニカ 畠中秀幸)



まるで絵本の中に出てくるような光景。周囲に溶け込み、ひっそりとたたく住まいには、自然との共生を目指す建て主の生き方が映し出されている(戸島健二郎建築設計 戸島健二郎)

特集1 自分らしい住まいで、自分らしい暮らしを

こだわり空間で実現した Only One の家づくり

米光建築設計事務所代表 一級建築士 米光 研

住まいは単なる居住空間ではありません。そこに「こだわり」があって初めて、自分らしい暮らしが実現できます。

こだわりの空間は室内だけではありません。自己表現の場は、建物の外観や庭など外空間にもあります。それが集合住宅にない、戸建ならではの楽しさです。

暮らしの豊かさは、こだわりだけでは実現しません。そこには安全性はもちろん、利便性や機能性が必要になります。こだわりと使い勝手がうまく調和した自分らしい住まいだと、愛着を持って長く快適に暮らすことができます。

そうした住まいへと導く水先案内人が依頼先、あなたのベストパートナーです。ここでは、「調和」「意匠」「快適」の3つをテーマに、建て主とそのパートナーと一緒に実現したこだわりの空間を紹介します。



ランドマーク 思わず目を止めてしまう美しい外観。そうした住まいは、地域のランドマークとして人々に愛される(五十嵐ユースケ設計室 五十嵐雄祐)

Design【意匠】



新たな表現

家づくりを考える中で、見過ごしてしまいがちなのが天井。表現の場として有効活用できる(五十嵐ユースケ設計室 五十嵐雄祐)



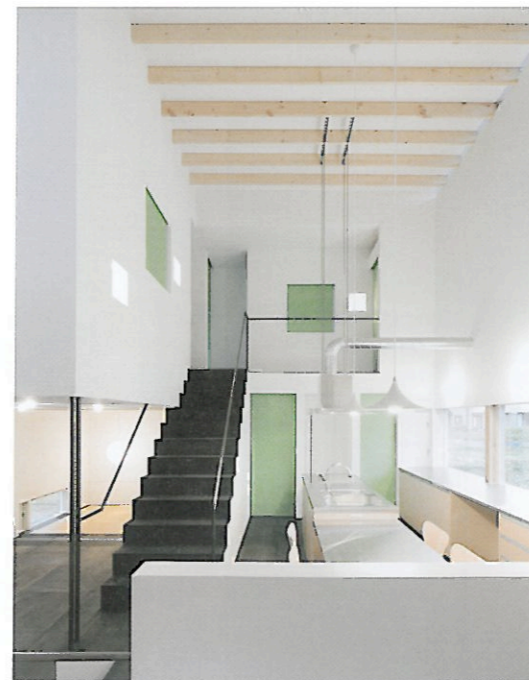
灯りのデザイン

照明器具の選択や設置場所にこだわれば、異空間を演出できる(大谷慎一郎建築室 大谷慎一郎)



素材の美しさ

壁はコンクリート、天井と窓枠は木材と、あえて対照的な構造材をそのまま組み合わせた。素材が放つ美しさをありのままに伝えることで、合理性と意匠性がマッチした空間が生まれる(北海道建築工房 小室雅伸)



無限の組み合わせ

木材と金属を組み合わせると、シャープな印象を与えながらどこか暖かみのある空間になる。開口部をポップなライトグリーン、階段をブラックにして個性を演出。無数にある素材、色の中から自分好みの室内空間に仕上げるのは、家づくりの醍醐味(五十嵐ユースケ設計室 五十嵐雄祐)



ディテールへのこだわり

窓や天井の梁の形、壁の素材など、細かいディテールにこだわると、自分らしさがにじみ出ていつまでも愛着が持てる(大谷慎一郎建築室 大谷慎一郎)



空間のつなげ方

1階と2階の間に中2階を設けたのがスキップフロア。これで上下階の境がなくなり、独特の空間のつながりと変化を楽しむことができる(スタジオ・シンフォニカ 島中秀幸)



インテリアを追求

室内空間にマッチした質感の高い造り付け家具とキッチン。こうしたインテリアにも自分らしさを求めたい(大谷慎一郎建築室 大谷慎一郎)

水回り空間の新提案

居室空間の中に箱を置き、その中にキッチン、洗面など水回りを集約させて家事効率のアップを図った。天井と壁の間に隙間を設けて、プライバシーの確保と開放感を両立させた (スタジオ・シンフォニカ 島中秀幸)



収納の重要性

リビングの壁を有効活用した大容量の造り付け収納。個人の持ち物がリビングにあれば、そこは家族全員が楽しめる空間になる。収納下に地窓を設けて採光を確保する工夫も (五十嵐ユースケ設計室 五十嵐雄祐)

家事を快適に

キッチンから水回りへと一直線につながった家事動線。人が家の中を行き来する動線をいかに効率的にするか。それが暮らしの快適性につながる (あとりえ・あい 飯岡哲司)



Comfort 【快適】

大切な回遊動線

和室を中心にリビング、ダイニング、キッチンが配置された間取り。和室を基点に各部屋が円状につながり、ぐるっと回れる回遊動線ができる。各部屋にほどよい距離感が生まれ、人の行き来も便利 (あとりえ・あい 飯岡哲司)



癒し

最高の眺めが一日の疲れを癒してくれる (戸島健二郎建築設計 戸島健二郎)



北国の快適性

駐車スペースを玄関アプローチと共有させて、そこに物置と一体型のカーポートを設置すると、除雪作業は大幅に軽減される。素材を木製にしたことで外観は損なわれない。除雪問題は北国の快適性に直結する (大谷慎一郎建築室 大谷慎一郎)



愛車との暮らし

大好きな車とバイクいじりを楽しむため、1階はガレージ、2階を居住空間に。1階には作業の途中でくつろげる小上がりがあるなど、思い描いてきた夢を実現 (北海道建築工房 水野亮)



音楽のある生活

防音措置を施した広い部屋にコンクリートで作ったスピーカー。自分の好きな時間に思う存分、音楽を楽しみ、ミニコンサートも開ける (北海道建築工房 小室雅伸)

